

第14回 桃太郎カップ水球 【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター

【2021/12/26】

男子1回戦

山口県選抜 6

1	-	1
1	-	3
1	-	2
3	-	5
PSO		

11 神奈川選抜

審判： 荻野 浩明
宇田川 佑里子

山口県選抜	17	SH数	21	神奈川選抜
	2	速攻数	3	
	5	ST・SB	3	
	6	SH・P誘発アシスト	10	
	31%	GK阻止率	50%	
	7	EX反則数	5	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

JO優勝経験のある神奈川に、山口が大柄なGK酒巻を中心としたディフェンスでどこまで食い下がるかが注目される一戦。

1P

実力のあるチーム同士らしく、なかなか決定的なシュートにまで持ち込めない展開が長く続いたが、攻めあぐねた山口がオーバータイムで攻撃権を失うと、神奈川が一気呵成に攻め上がり、1:57に斎藤のミドルレンジからのシュートで先制。その後、神奈川のシュートミスから山口が反撃に転じ、ゴール前の退水を奪うと松田が決めて1-1の同点で第1ピリオドを終えた。似たようなチームカラー同士の対戦から、この先も接戦が予想される。

2P

開始早々、センターボールを取った神奈川がセンターポジションで退水を誘発し、そこを久保田が決めて2点目を奪うと、徐々に神奈川側にリズムが出てきた形になった。さらに中盤の2:03にはGK吉村のスチールからまたしても退水攻撃で斎藤がこの試合2点目をゲット。対する山口は直後に濱川がミドルシュートを決めて追いつがる展開となった。その直後には、今度は神奈川・仁木が前に入ってペナルティを取り、そこを鈴木が決めて山口2-4神奈川で前半を折り返した。双方、得点後に失点するという攻防が続いたが、こうしたプレーを防ぐ力のある両チームなだけに、それだけラリーの応酬の影響が出たと思える第2ピリオドであった。

3P

お互いに攻撃時のミス(パスミスなど)が少ない展開であったが、中盤の山口のパスを神奈川GK吉村がスチールし、そこを起点にゴール前のセンターへ見事なアシストパスが通って、斎藤が決めて2点差とした。結果的にはこのプレーが勝負の行方を決めた形となった。その後、山口の攻撃リズムが上がらずにオーバータイム。そこを突いた神奈川が退水攻撃を仕掛けて追加点を奪って主導権を握った展開となった。山口はその再開時にタイムアウトを取って落ち着かせ、そこからの攻撃でペナルティを決めて2点差に詰めた形で最終ピリオドへ。

4P

序盤から相手ゴールに迫ってシュート場面が一気に増えた。神奈川が開始早々にシュートを決めると、山口もペナルティで応酬。リズムに乗れるかと思ったときにシュートミスや攻撃時の反則から退水で山口が連続失点。これでほぼゲームが決まった形となり、最終的には山口6-11神奈川と最後はやや点差が開いた結果となった。

【プレー分析から】

両チームともに、攻撃時の相手速への対策を意識していたことから、お互いに泳げるチーム同士でありながら決定的な速攻場面がほとんどない試合展開となった。両者の差を分けたのは、センターボール直後のディフェンス対応と、GKの守備力(セーブとスチール)であった。

お互いに水球を理解した攻防が多く、この世代の試合としてはハイレベルな印象を与えた。両チームの課題としてはセンターボール後の対応や得点後の再開時の守備への対応が残ったが、リズム感のある水球らしいゲーム運びは今後期待していきたい。